

(モデルスクール)

都道府県名	
市町村等名	
学校名	

○学校における合理的配慮に関する取組

取組の特徴、概要を述べる。

I 学校における合理的配慮の取組

1. 学校の概要

学校の基本情報（例：学校の規模、障害種別（特別支援学校）、特別支援学級の有無とその障害種別（小・中学校）等）、本事業実施以前の特別支援教育への取組の状況、地域・学校の特色のうち特別支援教育に関連する事項等を説明する。

2. 該当の児童（生徒）の合理的配慮を図るために学校として行った工夫

校内の検討委員会の設置や、事業協力員の活用などの校内の体制整備上の工夫や、合理的配慮の検討・決定にあたっての個別の教育支援計画等の活用方策、関係機関との連携方策などについて説明する。

3. 実践例

事例の詳細については、「II」に具体的に記載するため、合理的配慮の対象となった児童生徒の状況や、提供された合理的配慮の内容について概要を記述する。

4. 成果と課題

児童生徒、保護者、教師などの意識の変化や、学校内の体制など、合理的配慮への取組を通して得られた成果と課題を記述する。

Ⅱ 児童生徒への合理的配慮の取組

1. 対象児童（生徒）について

学年、障害の状態、学習の様子、友だち関係や人との関わり、重点的に取り組んでいる課題、指導の方針等。

2. 対象児童（生徒）の学校における基礎的環境整備の状況

基礎的環境整備**(1)～(8)**の中から、特徴的な事項をいくつか挙げ、説明する。

また、適宜、資料を使用することができる。写真については、本人、保護者の許諾のあるものを使用することができる。

3. 対象児童（生徒）への合理的配慮の実際

合理的配慮**(1)－①～(3)③**の中から、特徴的な事項をいくつか挙げ、説明する。

また、適宜、資料を使用することができる。写真については、本人、保護者の許諾のあるものを使用することができる。

4. 取組の成果と課題

対象児童（生徒）への学習面・社会性の面への効果、他の児童・生徒への影響、教師や学校が課題と感じていること、新たに進めつつある取組など。

5. 本事例の考察（課題の解決策等について）

改めてこの事例の特徴的要素（この事例から何が参考となるのか）、影響を与えていると考えられる基礎的環境整備の状況、効果的な合理的配慮とそれに付随する学校、教師（通常学級・特別支援学級）の取組や具体的要因などについて考察する。